

．委託事業の概要

1．委託事業の内容

完全失業率が高水準で推移するなど、非常に厳しい雇用創出情勢の中で、雇用機会の創出が喫緊の課題となっているなか、厚生労働省政策担当官が主宰する雇用創出企画会議第一次報告書（座長：小野旭東京経済大学経済学部教授）において、コミュニティビジネス、環境技術関連、情報通信関連、住宅関連等の分野を雇用創出の可能性が高い分野として取り上げ報告された。

社団法人日本住宅設備システム協会は、前述の雇用創出の可能性の高い分野の中の住宅関連分野特に、住宅リフォーム分野に絞り、平成15年度の厚生労働省からの委託事業として、運営委員会（委員長：東陶機器（株））の傘下に、「住宅リフォーム雇用創出サポート委員会：委員長：野城智也東京大学生産技術研究所教授」を設置し遂行することとした。

2．委託事業の目的

住宅リフォーム分野の現状と課題を分析し、雇用創出の政策提言のため、方向性や政策の提言を実務的見地から調査及び考察を行い、市場の健全な成長と拡大を進めるためのあるべき姿を明確にする。

更に、雇用創出に向け今後進むべき仕組みのモデル立案を行い、実現に向けた提言の作成と雇用創出の見込みについてシミュレーションを行うことを目的とする。

3．住宅リフォーム雇用創出サポート事業推進の経緯

今回の事業を進めるにあたり、下記委員会を設置し、課題解決に向けた取り組みを進めた。

実施期間：2003年5月～2004年3月

「準備委員会」

住宅産業及び住宅リフォームに現存する課題を討議し、「住宅リフォーム分野の現状」としてとりまとめた。

「住宅リフォーム雇用創出サポート委員会」

住宅リフォーム分野の課題と対策、活性化に向けた施策、今後の課題についての討議と方向付けを行った。

「住宅リフォーム雇用創出サポート小委員会」

「住宅リフォーム雇用創出サポート委員会」傘下組織として、雇用創出サポート事業諸課題についての検討を進めた。